

『サステナブル・イノベーションダイアログフォーラム』

— 「本当にやりたいこと」を「未来社会に向けた価値の創造」に結びつけていく —

サステナブル・イノベーションズ株式会社

代表取締役社長 池邊純一

2018年9月

1. 目的 「本当にやりたいこと」と「未来社会に向けた価値の創造」を結びつけていく

当フォーラムに参加される皆様のお一人ひとりが「本当にやりたいこと」と心の底から思っていることを「未来社会に向けた価値の創造」に結びつけていくことを目指し、フォーラムの中で語り合いながらビジネスとして掘り下げて参ります。

大事なことは、「未来社会に向けて創造する価値」の真の目的（存在理由）であり、それが『社会の持続可能な発展』と結びついて『企業（貴社の皆様）の持続可能な成長』に結実していけばと考えております。

2. 基本思想 サステナブル（持続可能）

『サステナブル』は、「今の目の前のこと」を合理的に解決することだけでは実現できません。「今だけでなく未来の社会」においても『社会の持続可能な発展』につながる価値を創造し、しかも、そうした価値を一連のコンテキストの中で発展させていくことによってはじめて『サステナブル』であると言えるようになります。

未来社会に向けた価値を創造し発展させていくためには、目の当たりにしている問題を認識だけでは不十分な場合があります。すなわち、今は問題として認識されていないことでも、未来社会においては問題として認識される場合があります。無意識に仮定している前提条件を見直し、あるいは、視座する視点を広げて見ることで、それまでは認識されていない問題が浮かび上がってくることもあります。

ものごとをマクロに捉えて一般化して捉えようとする、ついつい経済性や合理性を優先して、共通的特質に着目し単純化して考えたいもの。しかし、多様性の重要性が認識され個性を大切にしていこうというこれからの社会にとって、一人ひとりの日々の暮らしに着目してミクロな視点からその深層にある価値を見出し、これまで以上に求められるようになっていきます。「本当にやりたいこと」を実現していくためには、その本質を深く掘り下げていかなければなりません。

3. 基本方針 共感の深化と協創

マクロ経済、マクロマーケティングの発想では、社会の中で暮らしている一人ひとりの生き方や心情をつかみとることはできません。また、ステレオタイプな取り組みでは、問題の解決にはつながりません。

「共感の深化」は、頭で考えついた共感ではありません。相手と同じ目線で感じ、気持ちを心の底から分かち合う過程を通して起こってくる共感です。さらに、深化した共感、相手を変えさせようとするのではなく、一緒に解決していきたいという心の中の声、すなわち、「協創の心」を生み出します。

『サステナブル』は、一人ひとりが暮らしの中で叶えたいと心の深層で感じていることへの「共感の深化」と「協創の心」によって、自らも内発的に深く関わっていく「本当にやりたいことの深化」の過程の中で実現されていきます。

4. 進め方 目的思考とビジョンの共有

心が発する言葉による対話（ダイアログ）は、「共感の深化」と「協創の心」を湧き上がらせ掘り下げていく重要なプロセスです。『サステナブル・イノベーションダイアログフォーラム』では、対話（ダイアログ）を通して「共感の深化」と「協創の心」を深掘りし「本当にやりたいこと」と「未来社会に向けた価値の創造」を結びつけて参ります。

1. 目的思考とメタ思考：「本当にやりたいこと」の目的（存在理由）を突き詰めて考えていく方法です
2. アウフヘーベン：一般的に弁証法として確立されている目的を追求していく手法です
3. Trigonal Thinking：ものごとを「広く、多角、深く、高く」の4方向の視点から捉えていく当社の思考方法です
4. Reality/view/Mind：対話を通して、現実と心の中で思うことを様々な視点から深めていく当社の手法です



経済格差が社会問題となっています。一方、これまでの経済性という発想を、社会の持続可能な発展という発想に転換すると、そこには、誰にとっても平等に心豊かさを求める世界が広がっていきます。皆様の奮ってのご参加をお待ち致します。

以上